

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書

西都市教育委員会

報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、報告書を提出する。

平成30年 9月28日

西都市教育委員会

教育長 川 井 田 和 人

○自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなった。

西都市教育委員会としては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その効果等を踏まえて改革に取り組んできたところである。

教育政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは施策を的確に遂行するとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要であることから、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を行うこととした。

○点検・評価について

「教育委員会の活動」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの項目に大分類した。

項 目	点検・評価方法
大項目1 教育委員会の活動	教育委員会の会議の運営改善、保護者や地域住民への情報発信などを中項目とし、それぞれに小項目を設定して点検・評価を行う。
大項目2 教育委員会が管理・執行する事務	西都市教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき中項目を設定して点検・評価を行う。
大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	当初予算に計上された事務事業に対する実績、評価及び課題等を行い、その達成度を5段階評価とする。 評価5 達成度概ね100% 評価4 達成度概ね 80% 評価3 達成度概ね 60% 評価2 達成度概ね 40% 評価1 達成度20%未満

○評価委員会について

「教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱」に基づき、委員3名を委嘱し、上記の点検・評価の結果について意見等を求め、その客観性及び透明性を確保する。

○公表について

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書」を議会へ提出するとともに、市のホームページで公表する。

西都市教育委員会の自己点検・評価シート

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会の会議 の運営改善	① 教育委員会会議の 開催回数	定例会を毎月1回開催した。また、必要に応じ臨時会を2回開催した。上程議案は38件であり、全件とも承認であった。
	② 教育委員会会議の 運営上の工夫	定例会において2か月後の定例会開催日時を決定し、全員出席できるよう調整した。また、会議の5日前までに資料を事前配付した。このことにより各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討ができた。
(2) 教育委員会の会議 の公開、保護者や 地域住民への情報 発信	① 教育委員会会議の 傍聴者の状況	傍聴希望の申し込みはなかった。
	② 議事録の公開、広 報・公聴活動の状況	教育委員会会議の議事録をホームページへ公開した。
(3) 教育委員会と事務 局との連携	① 教育委員会と事務 局との連携	委員会の会議が事後承諾にならないように、事前に資料提供を受け、各委員が十分に内容把握の上、委員会での検討を行った。平成29年度も、会議5日前の情報提供が、概ね達成できた。
(4) 教育委員会と首長 部局の連携	① 教育委員会と首長 との意見交換会の 実施	下記のとおり首長部局との連携を図った。 ・市長、教育長及び教育委員4名が、県立高等学校活性化推進協議会において、意見交換を行った。 ・市長、教育長及び教育委員4名による総合教育会議を1回開催し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等について協議を行った。
(5) 教育委員の自己研 鑽	① 研修会への参加状 況	下記のとおり研修を行った。 ・宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会秋季研修会に2名参加 ・九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・九州地区市町村教育委員研修大会に4名参加

(6) 学校及び教育施設 に対する支援・条 件整備	① 学校支援訪問	重点支援校を除く小中学校（分校を含む）の学校支援訪問を実施し、教育課程及び学習指導、生徒指導について適切な指導助言を行うことができた。学校ごとに隔年で県教育委員会に支援を求め、県との合同訪問を行っており、平成29年度は5校で実施した。
	② 所管施設の訪問	重点支援校を除く小中学校（分校を含む）の学校支援訪問に併せて、学校施設の視察を行った。

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	点検・評価
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針の決定に関すること	平成27年度に策定された、第四次西都市総合計画後期計画（平成28年度～32年度）及び西都市教育大綱に基づき、平成29年度教育基本方針並びに教育施策の内容を見直し、平成30年度教育基本方針並びに教育施策を定めた。（3月定例会において承認確定）
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	平成29年度中の設置・廃止はなかった。
(3) 教科内容及びその取扱いの一般方針の決定に関すること	小中高一貫教育に伴う「さいと学」「英語活動」「英会話科」「英語表現科」の充実を目指し、各学校の実態に応じた異校種間の乗り入れ授業の推進を図った。
(4) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免に関すること	平成30年4月の人事異動に際し、市長部局からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。
(5) 県費負担に係る校長の任免及び人事並びに県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	平成30年4月の人事異動に際し、県の人事異動方針をふまえ人事に関する内申を行い、概ねその意向が異動に反映された。
(6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針及び分限（本人の意に反する場合）又は懲戒に関すること	教育委員会事務局の人事については、市長部局と交流を図るなど協議を行った。 分限及び懲戒については市長部局の基準を準用している。 県費負担教職員の人事については、県教育委員会にて対応している。 分限及び懲戒については、市町村立学校職員の分限に関する条例及び市町村立学校職員の懲戒に関する条例により県教育委員会にて対応している。平成29年度は事務局職員2名を嚴重注意に処した。
(7) 学校その他の教育機関の敷地の設定又は変更に関すること	平成29年度、県の上揚地区急傾斜地崩壊対策事業に伴い、旧銀上小学校運動場の一部526.28㎡を宮崎県に譲渡した。

中項目	点検・評価
<p>(8) 教育委員会規則及び規程の制定及び改廃に関する こと</p>	<p>「西都市公民館管理運営規則」及び「西都市教育委員会公印規程」の一部改正を行った。</p>
<p>(9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関する こと</p>	<p>下記のとおり原案の承認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月補正予算 (5月定例会) 1件 ・ 9月補正予算 (8月定例会) 1件 ・ 12月補正予算 (11月定例会) 1件 ・ 3月補正予算 (2月定例会) 1件 ・ 新年度予算 (2月定例会) 1件 ・ その他法改正等に伴う条例改正等の原案 4件
<p>(10) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任命 又は委嘱に関する こと</p>	<p>下記のとおり委嘱又は任命した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西都市教育研究センター主事及び事務職員の任命並びに主任研究員及び研究員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市学校給食共同調理場運営審議会委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市青少年育成センター青少年指導委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市社会教育委員の委嘱 (4月定例会) ・ 西都市公民館運営審議会委員の委嘱 (5月定例会) ・ 西都市市立図書館協議会委員の任命 (5月定例会) ・ 西都市歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱 (5月定例会) ・ 西都市文化財保存調査委員会委員の委嘱 (8月定例会) ・ 日向国府跡保存整備検討委員会委員の選任並びに委嘱 (9月定例会) ・ 西都市学校給食調理等業務民間委託に係る受託者選考委員会委員の委嘱 (11月定例会) ・ 西都児湯いじめ問題対策専門家委員会委員の選任 (3月定例会) ・ 西都市教育支援センター指導員の委嘱 (3月定例会) ・ 西都市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱 (3月定例会) ・ 西都市社会教育指導員の任命 (3月定例会) ・ 西都市青少年育成センター青少年指導員の委嘱 (3月定例会)
<p>(11) 校長及び教職員の研修の一般方針の決定に関する こと</p>	<p>平成29年度教育施策を検討する中で、教職員研修の充実に関する内容を定めた。</p>
<p>(12) 通学区域の設定又は変更に関する こと</p>	<p>平成29年度中の設定・変更はなかった。</p>

中項目	点検・評価
(13) 西都市文化財保護条例による文化財の指定及び解除に関する事 こと	平成29年度中の指定・解除はなかった。
(14) 請願、陳情及び訴訟又は異議の申立てに関する事 こと	市立中学校の部活動中の事故に係る損害賠償請求の訴訟が提起された。
(15) 行政手続法及び西都市行政手続条例に基づく審査 基準及び処分基準の制定又は改廃に関する事 こと	平成29年度中の制定・改廃はなかった。

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目 1 学校教育の充実

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(1) 教育委員運営事業	<p>【目的】 地方自治法において設置が義務付けられる教育委員会において、教育方針の決定等を行うために必要な支援をすることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育委員会会議 教育方針の決定、教育委員会事務局に関する議案等について、調査・審議を行う。 (1) 定例教育委員会 (毎月1回) (2) 臨時教育委員会 (随時) 学校訪問 市内小中学校における教育課程、学習指導及び生徒指導等について、教育委員より指導助言を計画的に行う。 教育委員研修会・連合会総会等 教育委員の資質向上、先進地情報の取得及び情報交換等を目的に会議、研修会へ出席により教育行政に反映させる。 <p>【効果】 定期的な教育委員会会議の開催により意思形成を円滑に進めることができ、また、教育委員の資質向上及び情報取得等を目的に委員が総会及び研修会等に参加することにより、その成果を教育方針及び教育行政へ反映することができる。</p> <p>【指標】 教育委員会開催回数 15回 【平成29年度当初予算額】 2,380千円</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教育委員会会議 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 12回 (毎月1回) ・臨時会 2回 (随時) ・上程議案 38件 (全件承認) ・教育方針の見直し 平成30年3月定例会で決定 学校支援訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・市主催 6校 ・県市合同 5校 教育委員研修会・連合会総会等 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会総会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会夏季研修会に3名参加 ・児湯教育委員会連絡協議会秋季研修会に2名参加 ・九州都市教育長協議会研究大会に教育長が参加 ・宮崎県市町村教育委員会連合会総会に1名参加 ・市町村教育委員会委員長・教育長会議に2名参加 ・宮崎県都市教育長協議会に教育長が参加 (4回) ・宮崎県教育委員会との意見交換会・情報交換会に2名参加 ・九州地区市町村教育委員研修大会に4名参加 <p>【実績】 教育委員会開催回数 14回 【平成29年度決算額】 2,326千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教育委員会開催回数については、毎月開催する定例教育委員会12回及び臨時教育委員会は、今回は人事議案に係る臨時会を2回開催した。また、その他の行事等についてはほぼ予定どおり実施できた。</p>	5
(2) 事務局管理費	<p>【目的】 諸ニーズに即した学校再編、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価など、教育の充実及び教育委員会事務局の運営に資することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 教育長公務調整事務 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価事務 学校再編に係る事務 教育委員会表彰事務 奨学生等選考委員会による奨学生等の選考事務 教育委員会マイクロバスの運行管理 小中学校の文書送達及び回収業務 <p>【効果】 教育委員会による教育方針を受けて生じる教育委員会事務局事務について、学校教育及び社会教育の枠を超えたこの事業で行うことで、効率的に</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教育長公務を教委定例課長会 (月1回) 時及び随時に調整 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を平成30年3月に市議会へ報告 小学生1名、中学生11名を教育委員会表彰 奨学資金基金の新規貸付数 0名 教育委員会マイクロバス稼働日数 138日 小中学校の文書送達及び回収業務を(社)西都市シルバー人材センターへ業務委託し実施。 <p>【平成29年度決算額】 5,741千円</p> <p>【指標等の達成状況】 奨学資金基金貸付金を利用しやすいものとするため、貸付金額の増額、入学一時金の創設、返還期間の延長や、貸付金返還者のうち西都市に居住者に対する補助金の交付等を検討し、平成30年度から実施するよう条例改正及び要綱制定を行った。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>運営することができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 6,358千円</p>		
(3) 教職員住宅管理事業	<p>【目的】 教職員住宅の維持管理を目的とする。</p> <p>【内容】 教職員住宅20戸の維持管理費。主なものは、修繕費、借地料など。</p> <p>【効果】 ほとんどの教職員住宅が学校の近くにあり、緊急時に対応ができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 1,705千円</p>	<p>下記のとおり教職員住宅の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕件数 6件 ・敷地賃借件数 7件 ・未入居戸数 7戸 <p>【平成29年度決算額】 3,191千円</p> <p>【指標等の達成状況】 教職員住宅の修繕を6件行い、入居者の要望に沿った維持管理を実施した。また、老朽化に伴い2棟の教職員住宅を計画どおり解体し、1棟の教職員住宅を廃止した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5
(4) 山村留学振興事業	<p>【目的】 銀鏡地区における地域教育の振興及び地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 1. 山村留学制度実施事業に対する支援 西都市山村留学制度実施事業補助金交付要綱に基づき、山村留学児童生徒が銀鏡地区において生活することとなる家庭（里親）に対する委託料（留学児童生徒が生活等行ううえで必要となる最低限の費用）、地域住民との交流経費及び山村留学制度PR費等の一部について補助し、地域教育の振興及び地域の活性化を図る。 2. 銀上小学校・銀鏡中学校に係る区域外就学児童生徒の通学に対する支援 西都市立銀上小学校及び銀鏡中学校に係る区域外通学生に対する通学助成金交付要綱に基づき、区域外通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図る。</p> <p>【効果】 地域教育の維持が可能となると共に、地域活動の充実による地域活性化と地域経済に対する効果が生じている。また、山村留学制度を銀鏡地区のPRツールとすることにより、銀鏡地区の情報発信効果、更には高付加価値化を得ることができている。</p> <p>【指標】 山村留学児童生徒数 18名 【平成29年度当初予算額】 7,560千円</p>	<p>下記のとおり山村留学に対する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥日向銀上山村留学実行委員会に対し、里親経費や広報活動経費等を対象とした補助金を交付した。 <p>【実績】 山村留学児童生徒数 17名 【平成29年度決算額】 7,020千円</p> <p>【指標等の達成状況】 実施主体である実行委員会に対し、事業内容に沿った支援を実施することで、地域教育の維持及び地域の活性化を図ることができた。指標である山村留学児童生徒数は17名の実績であり、人数に応じた経費等の支援は概ね達成できた。</p>	5
(5) 小学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p>	<p>下記のとおり小学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 6名 ・委託件数 23件 	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【内容】 主なものは以下のとおり ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること</p> <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、児童の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 138,779千円</p>	<p>警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事件数 10件 三納小屋内運動場屋根塗装、茶臼原小屋内運動場トイレ改修、旧銀上小屋外運動場倉庫ほか解体、妻南小北校舎階段手摺設置ほか工事、妻北小ほか5校照明改修 ・備品購入件数 13件 体育館暗幕カーテン、給食配膳台、学校沿革史黒板 ほか <p>【平成29年度決算額】 164,456千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を164件実施するとともに、非構造物の耐震化に係る照明改修等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	
(6) 小学校教育振興事業	<p>【目的】 小学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や児童の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 28,145千円</p>	<p>下記のとおり小学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 79件 理科、教材、図書備品 ・遠距離通学補助交付児童数 53名 第2条第1号該当 41名(4km以上) 第2条第3号該当 12名(指定する学校でバス利用) ・就学援助児童数 178名 <p>【平成29年度決算額】 26,731千円</p> <p>【指標等の達成状況】 理科備品、教材備品及び図書を購入し、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5
(7) 中学校管理事務費	<p>【目的】 安全・安心で快適な教育環境を確保するため、学校施設設備の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・学校事務職員に関すること ・施設維持管理に関すること ・施設改修工事に関すること ・学校一般備品に関すること</p> <p>【効果】 学校施設設備等を適切に管理することで、生徒の安全・安心で快適な教育環境を確保することができる。</p>	<p>下記のとおり中学校の学校施設設備の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市費事務職員数 5名 (うち2名は小学校兼務) ・委託件数 17件 警備、空調設備保守、環境整備、自家用電気工作物保安管理、消防施設等点検業務 ・工事件数 7件 三財中学校屋内運動場屋根防水ほか工事、銀鏡中管理教室等屋根塗装ほか工事、妻中監視カメラ設置、屋内運動場及び技術室等スロープ設置、グラウンド倉庫新築、穂北中ほか1校照明改修 ・備品購入件数 18件 ミュージックチャイム、大判プリンター、図書室用椅子、車椅子用机 ほか 	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【平成29年度当初予算額】 77,054千円</p>	<p>【平成29年度決算額】 101,983千円</p> <p>【指標等の達成状況】 校舎等の修繕を84件実施するとともに、非構造物の耐震化に係る照明改修等の工事を実施することで、安全・安心な教育環境を確保することができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	
(8) 中学校教育振興事業	<p>【目的】 中学校教育振興のため。</p> <p>【内容】 主なものは以下のとおり ・教材及び図書に関すること ・特別支援教育に関すること ・遠距離通学費補助に関すること ・就学援助に関すること</p> <p>【効果】 授業の中で効果的に活用できる教材等を整備することで、各学校で定めた教育目標の達成や生徒の学校生活・授業が充実し、教育水準の維持・向上を図ることができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 19,159千円</p>	<p>下記のとおり中学校の教育振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入件数 54件 教材備品、児童用図書、理科備品 ・遠距離通学補助交付生徒数 9名 第2条第2号該当 9名(6km以上) ・就学援助生徒数 79名 <p>【平成29年度決算額】 16,717千円</p> <p>【指標等の達成状況】 理科備品、教材備品及び図書を購入手、学校生活・授業の充実を図ることができた。また、補助及び扶助について適正な処理を行い、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5
(9) 幼稚園奨励事業	<p>【目的】 所得に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を目的に、幼稚園の入園料及び保育料を軽減し、もって幼稚園教育の振興に資する。</p> <p>【内容】 文科省の補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園に在園する満3歳以上の幼児の保護者で本市に居住する者に対して保育料等を減免する当該幼稚園設置者へ補助金を交付する。 平成27年度から、子ども・子育て支援新制度が実施され、新制度に移行した幼稚園は、補助対象外となっており、現在市内に対象となる幼稚園はないため、市外の対象となる幼稚園に通園する幼児がいる場合に補助金が交付される。</p> <p>【効果】 文科省により増設された「多子軽減」については、保護者の第2子以降の出産・子育て等に対する負担軽減措置として少子化対策の一助となることが期待できる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 370千円</p>	<p>下記のとおり幼稚園教育の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付幼稚園数 1園 ・補助金交付園児数 1名 <p>【平成29年度決算額】 35千円</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(10) 教育振興事業	<p>【目的】 学校教育の内容の充実を図る事を目的とする。</p> <p>【内容】 学校教育の教育内容の充実を図るため、以下の事業を行う。 ・教育指導支援に関すること ・就学指導に関すること ・教育文化に関すること ・教科用図書及び副読本に関すること ・教職員の研修に関すること</p> <p>【効果】 学校教育の充実に寄与する。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 22,890千円</p>	<p>市内小中学校の学校教育の充実を推進するため、以下の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校への学校支援訪問を実施 11校 ・市指定研究校による授業公開及び研究発表 茶臼原小 ・県指定重点支援校への支援訪問 三財小・中 ・全小中学校に学校評議員を委嘱 50名 ・市主催の教職員研修等を企画・実施 初任者研修、初赴任者研修、授業力brush-up研修等 ・Q-Uによる、学校生活意欲、学級満足度の調査を実施 ・就学指導を実施 就学前児童への観察・就学相談、教育支援委員会 ・教育支援センター「みつばルーム」及び「ほっとルーム」を運営 ・教育文化祭を開催 出品数893点 来場者数1,131名 ・各事業費補助 各教科等部会、生徒指導推進協議会、人権教育推進協議会等 <p>【平成29年度決算額】 23,159千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校支援訪問、指定研究校の研究公開等で、適切な指導助言等を行うとともに、市主催の職員研修や各事業に補助金を交付し支援を行うことをとおして、教職員の指導力向上を図ることができた。また、幼稚園、保育所等関係機関と連携し、教育相談、園児の観察を行い、教育支援委員会を開催し適切な就学指導を行うことで、保護者に対し就学に対する支援を行うことができた。教育支援センターの運営、副読本の増刷等、その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	4
(11) 学校生活介助員事業	<p>【目的】 学校生活介助員を派遣することで、小中学校に在学する障がい等がある児童生徒が、支障なく安全に学校生活を送ることができることを目的とする。</p> <p>【内容】 介助が無くては学校生活において支障があると認められる児童生徒に対し、学校内における身辺処理、移動、校外活動等の介助を行うための学校生活介助員の派遣を行う。</p> <p>【効果】 介助を行うことで、介助を必要とする児童生徒の安全な学校生活が確保できるとともに、学校及び教員の負担の軽減ができる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 29,252千円</p>	<p>下記のとおり学校生活介助員の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣小学校数 5校 対象児童数 31名 派遣介助員数 17名 ・派遣中学校数 1校 対象生徒数 2名 派遣介助員数 1名 <p>【平成29年度決算額】 24,860千円</p> <p>【指標等の達成状況】 児童生徒に対する介助の申請に対し、教育支援委員会及び学校での状況観察及び保護者の意見等を取り入れ、適正な学校生活介助員の派遣を行った。また、学校、委託先との連携により、要望に沿った介助を行うことで、児童生徒が安全に学校生活を送ることができ、学校及び教職員の負担軽減を図ることができた。</p>	5
(12) 総合的な学習の時間等の学社連携・融合支援事業	<p>【目的】 地域の人々との交流や地域の文化や自然に触れる体験活動、児童生徒の自主的な活動を通じて、児童生徒の郷土愛を深めるとともに、自発性や探求心を育てる各学校の取組を充実させることを目的とする。</p>	<p>総合的な学習の時間の学習活動を支援するために、下記のとおり講師を招聘した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 50名 ・中学校 43名 	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
	<p>【内容】 総合的な学習の時間及び生活科等の時間に地域の方々に講師を招くなどして、地域との連携や交流を取り入れた学習活動を支えるための報償費や一般消耗品費を予算化し、各学校を支援する。</p> <p>【効果】 児童生徒の探求心が育つとともに、地域の方を敬う気持ちや地域の自然や文化を守っていこうとする心情と態度を育成できる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 1, 406千円</p>	<p>【平成29年度決算額】 1, 104千円</p> <p>【指標等の達成状況】 各小・中学校の特色に応じた講師を招聘し、地域の方々との交流を通して、地域の伝統文化や農業等を体験することにより、地域の方を敬う気持ちや郷土愛を育む取組を実践した。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	
(13) 教育研究センター運営事業	<p>【目的】 西都市独自の教育研究機関を設置し、研究員のニーズに応じた講座や「日常授業の改善」につながる個人研修を計画的に実施し、研究員等の資質の向上を図り、各学校に還元する。</p> <p>【内容】 西都市の教育的課題を解決するために以下についての調査研究を行う。 （1）指導力向上、日常授業の改善に関すること （2）研究結果の普及に関すること 市内の各小中学校から12名の研究員を委嘱し、毎月研究会を開催し、市内全小中学校の教諭等が参加する研究発表会を年度末に開催する。</p> <p>【効果】 市の教育課題等について、12名の小中学校教諭等によって調査研究を行い、各校での取組の参考となる研究成果を発表することができている。 また、学力向上につながる講座を年8回行うことで、研究員の力量を高めることができている。</p> <p>【平成28年度当初予算額】 1, 465千円</p>	<p>西都市教育研究センターにおいて、下記のとおり調査研究を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究員を委嘱 主任研究員 1名 研究員 11名 ・研究班 個人研修 ・研究テーマ 「日常授業の改善」 ・実施回数 毎月2回程度 ・講座 ・個人研修 ・県外視察 ・市教育研究センターの研究発表報告会 <p>【平成29年度決算額】 978千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市の課題である「学力向上」につながる「日常授業の改善」という一つのテーマに対して、班別に研究していくスタイルから個人テーマを決めて研究できたで、研究員一人一人の資質を高め、学習内容をの定着を図る意識づけができた。 また、講座についても、具体的な内容が多く、日々の授業に生かすことができた。その研究の内容や成果を市の研究会を通し、各学校に還元することができた。</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
<p>(14) 小中高一貫教育推進事業</p>	<p>【目的】 平成20年度から開始している小中高一貫教育であり、小中高12年間の継続的計画的な指導により、西都の子どもたちの郷土愛の育成や学力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 小中高12年間を通じた教育活動を基盤に、西都市のことや生き方について学習する「さいと学」、小学校1年生から始める英語教育の「小学校英語活動」「小学校英会話科」「中学校英語表現科」、市内中学校等における外国語指導助手（ALT）配置、さらに教師の相互乗り入れや児童生徒の交流活動等を行う。</p> <p>【効果】 学校種間の接続・移行を円滑に行い、地域に自信と誇りを持ち、地域に貢献する人材の育成と確かな学力の定着が期待される。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 25,329千円</p>	<p>連携型一貫教育を推進するため、以下の事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)4名を雇用し、全小・中学校へ配置 ・宮崎国際大学との連携協定のもと、小学校6年生全員を対象とした小学生英語村体験研修を実施 ・読書活動推進員を配置 10名 ・英語検定の検定料補助 小学校6年生 259名 正答率 87.9% 中学校1年生 264名 合格率 59.8% ・聖陵セミナーへの支援 中学校3年生 73名 ・副読本の増刷 小学1年生用副読本「We love SAITO」 ・パンフレット印刷 学力向上の取組 <p>【平成29年度決算額】 23,591千円</p> <p>【指標等の達成状況】 外国語指導助手(ALT)4名を配置し、小学校1年生から中学校3年生までを対象としたきめ細かな英語教育を行うとともに、宮崎国際大学との連携協定のもと小学校6年生を対象とした英語村体験研修を行うことで、国際理解と英語への興味関心を高めることができた。また、「さいと学」の実施、「聖陵セミナー」などの地元高等学校による授業等を実施し、小中高連携による取組を行うことができた。</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(15) 学校保健管理費	<p>【目的】 小中学校における児童生徒及び教職員の健康や保健衛生の保持・増進及び学校体育による児童生徒の体力向上の増進や健全育成を目的とする。</p> <p>【内容】 児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する保健指導等を行うため、以下の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校嘱託医、学校薬剤師に関すること ・児童生徒及び教職員の健康診断等に関すること ・就学時健診に関すること ・災害共済給付金に関すること ・準要保護児童生徒に係る医療扶助に関すること ・その他学校の保健衛生に関すること 学校体育の推進のため、以下の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること ・中学校体育連盟の行う事業に対する補助等に関すること </p> <p>【効果】 学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全・安心の確保及び体力向上の増進や健全育成が図られる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 19,075千円</p>	<p>小中学校の保健衛生等の保持・増進を推進するために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱 学校医 内科医10名 眼科医2名 耳鼻咽喉科医2名 学校歯科医 9名 学校薬剤師 5名 ・学校医等による児童生徒の健康診断を実施 2,445名 ・就学時健康診断の実施 対象者234名 ・教職員の健康診断を実施 191名 ・日本スポーツ振興センターの災害共済保険制度に加入 保険給付実績 小学校 154件 742,182円 中学校 222件 1,319,513円 ・準要保護児童生徒の歯科治療に係る医療扶助 小学校 16件 38,000円 中学校 8件 25,000円 ・学校保健大会を開催 参加者 340名 <p>学校体育による体力向上や健全育成のために、以下に対する補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西都市学校体育事業費補助金 水泳大会、陸上記録会、子ども白太鼓踊り用ひもろぎの修繕費用等 ・宮崎県中学校総合体育大会等派遣費補助金 中学校体育連盟主催の県大会（地区総合、県総合、地区秋季、県秋季：対象者813名）出場に伴う費用 ・西都地区中学校九州大会等派遣費補助金 九州大会（6種目、21名）、全国大会（該当なし）出場に伴う費用 <p>【平成29年度決算額】 16,620千円</p> <p>【指標等の達成状況】 学校医及び学校歯科医と連携した、児童生徒の健康診断、就学時健康診断を実施、教職員を対象とした健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。学校薬剤師と連携し、保健衛生に関する相談、指導を行うことにより、教育環境の改善を図ることができた。また、準要保護児童生徒への医療扶助、小体連、中体連への補助に対し適正な処理を行うことで、保護者の負担軽減を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>	5
(16) 小学校保健管理事業	<p>【目的】 小学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】 小学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校保健室備品及び消耗品購入 ・児童の各種検査（尿、脊柱側弯） ・学校環境衛生指導（飲料水、プール水、ダニ検査等） </p> <p>【効果】</p>	<p>小学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生調査を実施 水質検査、空気検査、ダニ検査等 ・児童の各種検査を実施 尿検査 1,629名 脊柱側弯症検査 265名 ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入 <p>【平成29年度決算額】 2,794千円</p>	5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	<p>小学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 3, 156千円</p>	<p>【指標等の達成状況】</p> <p>学校医との連携及び検査委託により、児童の各種健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。また、学校薬剤師と連携し、水質検査など環境衛生調査・指導を行うことにより、教育環境の改善を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(17) 中学校保健管理事業	<p>【目的】 中学校における学校保健及び学校安全の充実を目的とする。</p> <p>【内容】 中学校の学校保健、学校安全の充実のため、以下の事業を行う。 ・中学校保健室備品及び消耗品購入 ・生徒の各種検査（尿、脊柱側弯、貧血） ・学校環境衛生指導（飲料水、プール水、ダニ検査等）</p> <p>【効果】 中学校における教育活動が安全な環境において実施され、生徒の安全・安心の確保が図られる。</p> <p>【平成28年度当初予算額】 2, 228千円</p>	<p>中学校における学校保健及び学校安全の充実のために、以下の事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生調査を実施 水質検査、空気検査、ダニ検査等 ・生徒の各種検査を実施 <p>尿検査 801名 貧血検査 615名 脊柱側弯症検査 249名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室の消耗品、医薬品及び備品を購入 <p>【平成28年度決算額】 1, 806千円</p> <p>【指標等の達成状況】</p> <p>学校医との連携及び検査委託により、児童の各種健康診断を実施することで健康の保持・増進を図ることができた。また、学校薬剤師と連携し、水質検査など環境衛生調査・指導を行うことにより、教育環境の改善を図ることができた。その他の事務については、概ね予定どおり実施できた。</p>
(18) 給食センター管理費	<p>【目的】 「学校給食衛生管理基準」に基づいた、安全でおいしい学校給食を欠かさず提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 西都市内の小中学校の児童生徒への学校給食提供に必要な管理運営を行う。 銀鏡地区を除く小中学校には、共同調理場方式で給食センターから提供している。銀鏡地区については、銀鏡中の調理場で調理を行い、単独校調理方式で銀上小学校にも提供している。</p> <p>【効果】 安全でおいしい学校給食の提供を行うとともに、児童生徒の心身の健全な発達と食に関する正しい理解と適切な判断力の養成が図られる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 101, 656千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の要望に応じ、調理業務委託業者や配送業務委託業者等との調整を図り、効果的かつ効率的な運用に務め、給食提供計画数である小学校195日、中学校190日においては、計画どおりの提供ができた。 <p>平成29年度実績では、小学校339千食、中学校164千食であった。</p> <p>また、「西都の日」と称し毎月1回、地元農産物を使用した学校給食の提供や食育の推進に寄与できる資料となるよう、使用食材の紹介や生産者の声を記載した食育だよりを作成し、毎月の配布を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児童・生徒への対応については、アレルギー調査を基に保護者との面談を実施し、可能な限り個々の症状に応じた提供を実施した。平成29年度の実績では児童15名、生徒6名に除去食・代替食での対応を行い年間を通じ事故等も無く安全な提供ができた。 ・東米良地区では、単独校調理方式により銀鏡中学校調理場で平地校と同一の献立を基に山間部ならではの献立取り入れるなど安定した給食の提供ができた。 <p>平成29年度実績では、小学校約3, 700食、中学校約3, 900食であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底及び給食環境改善を図るため学校給食用食器の更新を実施した。 <p>【平成29年度決算額】 99, 425千円</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
		【指標等の達成状況】 給食センター及び銀鏡中学校調理場での安定した安全な給食の提供が実施できた。	
(19) 共同調理場運営審議会事業	【目的】 共同調理場の適正かつ円滑な運営に資することを目的とする。 【内容】 教育委員会の諮問に応じ、共同調理場の運営に資する重要な事項について調査及び審議を行う。 【効果】 諮問機関である審議会の答申に基づき共同調理場の良好な運営ができる。 【平成29年度当初予算額】 45千円	【平成29年度決算額】 19千円 【指標等の達成状況】 審議会を開催し、設置目的等や業務説明行い理解を得た。また、併せて、給食センター概要、予算説明をした。	5

中項目 2 生涯学習の推進

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
<p>(1) 社会教育総務費</p>	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育の総合的な推進を図るため、市民の生涯学習相談及び指導、各種ボランティア団体及び社会教育関係団体の指導・養成等を強化する。 2. 豊かな人間性を養い、連帯意識や協調性に富んだ社会教育関係団体の育成充実に努める。 3. 年齢や生活体験の異なる子どもたちが集団のなかで役割と責任を認識し、自然体験や文化活動等、学校教育や家庭教育では得ることのできないものを提供する。 4. 青少年の問題行動や非行を未然に防ぐとともに健全育成を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関、関係団体等と連携を図りながら、地域ぐるみの青少年健全育成を目的とする。 5. 社会人としての自覚や責任、誇りを持たせ、西都市という故郷に想いはせ、今までお世話になった方に感謝しつつ、社会参加を促進する。 6. 家庭教育はそれぞれの家庭の責任と判断に基づいて行うことが基本ではあるが、家庭教育に自信が持てなくなった親も見受けられることから家庭での教育について学ぶことのできる場の提供を行う。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育関係団体に対しての活動助成及び助言を行う。 2. 青少年健全育成事業として、ジュニアリーダー教室・子ども会リーダー研修・市指定子ども会公開・子ども会インリーダー教室を行う。 3. 青少年の指導相談・関係機関との連携・巡回指導報告のまとめ・青少年健全育成市民大会を開催する。青少年育成センターに青少年指導員をおき、指導及び相談にあたる。また、青少年指導委員（20名）を総括する。 4. 成人式典を開催する。 5. 家庭における子どもの教育について、必要な知識を一定期間で、計画的・継続的に学習する機会を提供する。 <p>【効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育事業の推進母体とし様々な社会教育活動を行っている。 2. 学校や家庭では体験することのできない自然のなかでの遊びや子ども会活動を通じて、自主性をもった行動や、協調性が生まれ子どもの成長に大きく寄与し、また、子どもの育成に関し、地域と一体となった育成が推進できる。 3. 青少年の非行防止と健全育成に効果がある。 4. 成人式に参加して、郷土愛を育み、家族等のつながりを感じ取ってもらう。式典に参加し責任ある社会人を自覚する。 5. 同年代の子供を持つ親同士が、日常の出来事をはじめ、子ども達の様子を語り合うことから、子どもを多角的な視野で観ることができ、子どもへの理解が深まり、いろいろな疑問や問題等への解決の糸口を得ることで、子育てにゆとりを得ることができる。 <p>【指標】 活動助成団体数 5団体</p>	<p>点検・評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育関係団体活動補助 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市子ども会育成連絡協議会 ・西都市PTA協議会 ・西都市地域婦人連絡協議会 ・日本ボーイスカウト西都第1団 2. 青少年教育 <ul style="list-style-type: none"> ・インリーダー教室 (1月～3月) ・子ども会リーダー研修 (7月28日～30日) ・ジュニアリーダー教室 (5月～3月) ・県ジュニアリーダー研修会 (8月4日～6日) ・九州地区子ども会 ジュニアリーダー研修会大分大会 (8月18日～20日) ・指定子ども会公開 12子ども会 3. 青少年 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市青少年健全育成市民大会 (7月1日) ・西都市青少年育成連絡会 (11月15日) ・青少年指導委員による地域巡回指導 4. 成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・新成人による成人式 (1月5日) 5. 家庭教育 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校家庭教育学級 9学級 <p>【実績】 活動助成団体数 5団体 青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 69人 西都市青少年健全育成市民大会参加者 330人 式典の新成人参加率 78% 家庭教育学級数 12団体 (9学級開級)</p> <p>【平成29年度決算額】 10,989千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている各項目全体の達成度は、約89%であった。</p>

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価
	青少年の体験事業参加小学生数 (リーダー研修) 100人 西都市青少年健全育成市民大会参加者 350人 式典の新成人参加率 90% 家庭教育学級数 12団体 【平成29年度当初予算額】 11,277千円	
(2) 公民館活動事業	【目的】 社会教育法第20条(公民館は、住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする)により、実施している。 【内容】 ◎市公民館・各地区館講座の開催 パソコン講座、水彩画講座など35の講座を開催。 ◎公民館に3名の社会教育指導員を配置。(一人2地区担当)各地区高齢者教室、各地区家庭教育学級、生涯学習の相談・指導を担当。 ◎高齢者教室(6地区)の開催 地域における高齢者相互の意志疎通を図るとともに、健康で生きがいのある人生を過ごせるよう、受講生の学習要求に応じたプログラムで実施するもの。市内在住の65歳以上の男女が対象。 ◎このはな学園の開催 69歳以下の市民を対象に、学ぶ喜び、集う楽しさを知ってもらい、生き生きと様々なことを学習できる場として、このはな学園を開催。 【効果】 多くの市民に学習の機会を提供できる。 【指標】 市公民館・地区館講座受講者数 900人 【平成29年度当初予算額】 4,313千円	1. 市公民館・地区館講座の開設 ①市公民館講座数 パソコン講座等16講座(372名参加) ②地区館講座数 パソコン講座等19講座(232名参加) 2. 高齢者教室の開設 教室数 6教室 総計110名参加 妻地区45名 穂北地区9名 三納地区15名 都於郡地区11名 三財地区17名 東米良地区13名 3. このはな学園の開設 19名参加 【実績】 市公民館・地区館講座受講者数 604人 【平成29年度決算額】 3,656千円 【指標等の達成状況】 市公民館・地区館の各種講座については、生涯学習情報誌「はじめませんか生涯学習」を作成、全戸配布し情報発信に努めたが、指標としている、市公民館・地区館講座受講者数の達成度は、約67%であった。
(3) 公民館維持管理事業	【目的】 市公民館・各地区館の維持管理を行う。 【内容】 ◎市公民館の維持管理業務 ◎各地区館の維持管理業務 【効果】 使用に支障をきたさないような維持管理が可能となる。 【指標】 修繕料 1,050千円 【平成29年度当初予算額】 10,700千円	管理施設 ①市公民館 ②穂北地区館・三納地区館・都於郡地区館・三財地区館・東米良地区館 【実績】 修繕料 1,577千円 【平成29年度決算額】 11,400千円 【指標等の達成状況】 指標の修繕料は当初予算であり、都於郡地区館駐車場安全施設修繕等が発生したことから、実績は増額となっている。なお、修繕については予定どおり実施できた。

3

5

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(4) 図書館管理事業	<p>【目的】 生涯学習の拠点施設として魅力ある図書館とするため施設の維持管理を行う。</p> <p>【内容】 ○市民ニーズに対応した図書館の整備充実及び施設の維持管理 ○夏休み期間中をすべて開館</p> <p>【効果】 開館日数を増やすことにより、利用者へのサービスの充実が図れる。</p> <p>【指標】 年間入館者数 49,000人 【平成29年度当初予算額】 19,630 千円</p>	<p>夏休み期間中、月曜日の開館及び研修室の開放を行い、学生支援や図書館サービスの充実に努めた。</p> <p>【実績】 年間入館者数 41,850人 【平成29年度決算額】 15,318千円</p> <p>【指標等の達成状況】 年間入館者数の達成率は約85%であった。</p>	4
(5) 図書貸出事業	<p>【目的】 市民の教育と文化の発展に寄与するため、文献や資料の収集・整理・保存に努め、閲覧の場所を提供するとともに、市民の様々な学習活動を支援する。</p> <p>【内容】 ○図書館資料の収集・整理・保存・提供 ○貸出文庫</p> <p>【効果】 図書館資料の充実を図ることで利用者の多様なニーズに応えることが可能となり、調べ学習など生涯学習の拠点となりうる。</p> <p>【指標】 貸出冊数 98,000冊 【平成29年度当初予算額】 5,222千円</p>	<p>図書の充実 (平成30年3月31日現在) 蔵書数 79,293冊 一般図書数 52,026冊 児童図書数 27,267冊</p> <p>【実績】 貸出冊数 106,513冊 【平成29年度決算額】 5,299千円</p> <p>【指標等の達成状況】 郷土資料など高額資料の充実を図った。なお、県立図書館および県内図書館からの相互貸借により、利用者へのサービスを図った。貸出冊数は、達成できた。</p>	5
(6) 読書推進事業	<p>【目的】 読書感想文コンクールや図書館まつり、読み聞かせ等を行い、本に親しむ事業を企画し、市民の読書意欲増進に努める。</p> <p>【内容】 ○西都市小学生読書感想文コンクールの実施 ○図書館まつりの開催 ○読み聞かせ講演会 ○ブックスタート・ブックフォロー事業の実施</p> <p>【効果】 各種事業を行うことで、市民が図書館や本に親しみを持つことになり、ひいては読書人口の増加につながる。 また、読み聞かせ講演会を実施することで、読み聞かせを行うグループや個人を支援でき、市内各所で読み聞かせ活動がひろがり、読書推進に</p>	<p>読書人口の拡大のために行った企画 (1) 図書のテーマごと展示 (2) 読書感想文コンクールの開催 (3) 貸出文庫 (団体貸出) (4) ブックスタート事業 (6ヶ月検診時に図書館の紹介と布バック・絵本を配布) ブックフォロー事業 (3歳児検診時に図書館の紹介と絵本を配布)</p> <p>(5) 絵本の読み聞かせ (6) 子ども読書の日イベントの開催 (7) 図書館まつりの開催 (8) 読み聞かせ講演会の開催</p>	5

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価	
	<p>効果が期待できる。</p> <p>【指標】 西都市小学生読書感想文コンクール 75作品 【平成29年度当初予算額】 822千円</p>	<p>(9) ハロウィンイベント (10) 小学生1日図書館員 (11) 夏休みスタンプラリー (12) 年間多読賞表彰</p> <p>【実績】 西都市小学生読書感想文コンクール応募作品数 78作品 【平成29年度決算額】 792千円</p> <p>【指標等の達成状況】 小学生読書感想文コンクールの応募作品数は達成できた。</p>	
(7) 生涯学習推進事業	<p>【目的】 生涯学習の推進を行う。</p> <p>【内容】 ◎生涯学習フェスティバルの開催 ◎市生涯学習さわやか出前講座の開催</p> <p>【効果】 生涯学習への参加人数の増が図られる。</p> <p>【指標】 生涯学習講座への参加者数 1,300人 【平成29年度当初予算額】 2,147千円</p>	<p>◎生涯学習フェスティバルの開催 (3月4日～10日に開催。延べ参加者数 1,037人)</p> <p>◎市生涯学習さわやか出前講座の開催 (14講座 総参加者数323人)</p> <p>【実績】 生涯学習講座への参加者数 1,360人 【平成29年度決算額】 1,930千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市のお知らせやフェイスブック等を活用し、生涯学習フェスティバルや出前講座の情報発信を行い、生涯学習講座等への参加者数は指標に達した。</p>	5
(8) 青少年研修施設管理運営事業	<p>【目的】 宿泊体験を通じて、子ども達の自主性、協調性、忍耐力を養う場として青少年研修施設「まがたま館」の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 勤労青少年、児童生徒及び指導者に研修の場を提供する。</p> <p>【効果】 施設利用を通じて、市内のスポーツ施設利用増や青少年の自主性、協調性、忍耐力を養い健全育成に寄与する。</p> <p>【指標】 宿泊者数 250人 利用団体数 10団体 【平成29年度当初予算額】 3,105千円</p>	<p>スポーツ少年団、中学校、高校及び専門学校のスポーツ部活動による青少年研修施設「まがたま館」の利用</p> <p>【実績】 宿泊者数 106人 利用団体数 8団体 【平成29年度決算額】 2,132千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている宿泊者数の達成度は、42%であった。</p>	3

中項目 3 市民文化の継承と創造

小項目 (事業名)	目的・内容	点検・評価	
(1) 文化財保存活用事業	<p>【目的】 文化財の監視や委員会等、文化財の保存と活用に関連した事業を行う。</p> <p>【内容】 ○市内に所在する文化財の監視（年2回）や査察（文化財防火デー）、文化財保存調査委員会（年2回）により貴重な文化財の指定を行う等保存と活用を図る。 ○諸開発に伴う緊急発掘調査を行い、事業の調整に資する。</p> <p>【効果】 文化財の監視や査察、指定を行うことにより、歴史上価値の高い史跡等を次の世代に保存しようとする事ができる。また、県や保存会等関係団体と連携しながら世界文化遺産（西都原古墳）や、ユネスコ無形文化遺産（銀鏡神楽）の登録を目指して、情報発信や啓発活動を行い、文化財の活用を図る。</p> <p>【指標】 指定文化財数 1件（2年で2件） 【平成29年度当初予算額】 3,593千円</p>	<p>○文化財監視 史跡等の監視 8月、2月 文化財査察 1月26日 1回 文化財保存調査委員会 7月、3月の2回実施</p> <p>○緊急発掘調査 「周知の埋蔵文化財包蔵値」において土木工事等を実施しようする場合における緊急発掘調査（寺原遺跡、串木遺跡）</p> <p>【実績】 指定文化財数 0件 【平成29年度決算額】 2,664千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指定文化財数は、本年度は指定を行わなかったため、達成できなかった。</p>	5
(2) 日向国府跡保存整備事業	<p>【目的】 日向国府跡保存管理計画に基づき、発掘調査（確認調査）を行い、保存整備を進める。</p> <p>【内容】 日向国府跡指定地内について、遺構の特定及び保存整備データ蓄積のための発掘調査（確認調査）を年次的に行う。本年度は、遺構配置と構造を明らかにすることを目的に前殿及び東西脇殿北側の遺構確認調査を実施する。</p> <p>【効果】 日向国府跡については、西都原古墳群及び周辺整備構想においても日向国分寺跡・都於郡城跡同様観光の目玉として位置づけられており、日向国府の保存と活用が図られれば、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 6,265千円</p>	<p>・発掘調査（確認調査） 調査期間 平成29年4月～平成30年3月 調査面積 800㎡ 調査経費 5,211千円 調査概要 日向国府跡の遺跡配置と構造を明らかにし、保存整備の根拠となる遺跡情報を蓄積するため、前殿及び東西脇殿北側の遺構確認調査を実施した。</p> <p>【平成29年度決算額】 6,088千円</p> <p>【指標等の達成状況】 本年度は、日向国府跡の遺跡配置と構造を明らかにし、保存整備の根拠となる遺跡情報を蓄積するため、前殿及び東西脇殿北側の遺構確認調査を実施し、指標は達成できた。</p>	5
(3) 日向国府跡買い上げ事業	<p>【目的】 平成17年7月14日付で国史跡として指定を受け、平成24年9月19日付で追加指定を受けている。しかしながら、この地域は宅地化がされるなど環境が急変しているため、風致保存上および活用面で支障を来している。そのため、史跡の保存と活用を図ることを目的に、国庫補助事業（買い上げ事業）を導入して継続的に公有化を図り、日向国府跡の保存と活用を行う。</p>	<p>○買い上げの実施 土地鑑定 平成29年5月～平成29年6月 物件調査 平成29年6月～平成29年8月 買い上げ面積 943.76㎡ 買い上げ費用（補償費含む）71,740千円 事業費総額 75,306千円</p>	5

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価	
	<p>【内容】 追加指定とされたところについて、平成28年度より年次的、継続的に公有化を図る。</p> <p>【効果】 公有化することにより、日向国府跡の保存が図られ、整備することにより、観光の拠点として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 公有化 6筆 943.73㎡ 【平成29年度当初予算額】 77,722千円</p>	<p>【平成29年度決算額】 75,306千円</p> <p>【指標等の達成状況】 目標面積の公有化を完了100%達成した。</p>	
(4) 文化財整備運用事業	<p>【目的】 未指定文化財の調査など、文化財の整備運用に関連した事業を実施する。また、埋蔵文化財管理作業所を運営する。</p> <p>【内容】 ○未指定文化財を指定するための専門的な調査を依頼する。 ○埋蔵文化財管理作業所の運営を行う。 ○県指定古墳の名称変更に伴う、標柱及び説明看板設置委託を行う。</p> <p>【効果】 未指定文化財の市指定を行い、保全意識を高め、保存と活用が図れる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 2,863千円</p>	<p>○未指定文化財の市指定に向けた調査 ・日向国分寺跡のイチョウの木について市指定に向けた調査実施<樹木医依頼>（樹勢に関する現況確認）</p> <p>○埋蔵文化財管理作業所 電気、ガス、水道、コピー・プロッターリース等</p> <p>○県指定古墳の名称変更に伴う、標柱及び説明看板設置委託の実施</p> <p>【平成29年度決算額】 2,316千円</p> <p>【指標等の達成状況】 未指定文化財の調査や埋蔵文化財管理作業所の運営、発掘調査報告書の作成、さらに、県指定古墳の名称変更に伴う標柱及び説明看板設置について、概ね達成できた。</p>	5
(5) 文化財維持管理事業	<p>【目的】 市内に所在する史跡をはじめ、文化財関係施設の維持管理を図る。</p> <p>【内容】 国有古墳など日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群等の史跡、木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡のトイレ等文化財関連施設の維持管理を委託して行う。</p> <p>【効果】 史跡等の文化財及び関連施設の維持管理を行うことにより、活用が図れる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 12,248千円</p>	<p>・史跡の管理 国有古墳・日向国分寺跡・日向国府跡・西都原古墳群・都於郡城跡・新田原古墳群・穂北城跡等史跡 11件</p> <p>・文化財関連施設の管理 木喰五智館・有楽椿の里・都於郡城跡等のトイレ等 5件</p> <p>【平成29年度決算額】 11,729千円</p> <p>【指標等の達成状況】 史跡の管理、文化財関連施設の管理については、機械警備やシルバー人材センター等に委託しており、概ね達成できた。</p>	5

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価	
(6) 都於郡城跡法面保存整備事業	<p>【目的】 自然災害等により法面の崩落及び亀裂が生じていることから、平成13年度から国庫補助を導入して年次的に保護策を行う。</p> <p>【内容】 ○三ノ丸跡東北側法面について、ジオファイバー工法により保護工事を行う。</p> <p>【効果】 法面の保護により都於郡城跡の安定が図られ、発掘調査の成果を基に保存整備が行われることにより、観光の目玉として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 「三ノ丸跡」工事対象区域（国指定範囲） 面積 370㎡</p> <p>【平成29年度当初予算額】 25,314千円</p>	<p>○法面測量設計業務委託 委託期間 平成29年7月～8月 委託金額 497千円</p> <p>○法面保護工事 工事期間 平成29年12月～平成30年2月3月 請負金額 11,996千円</p> <p>【平成29年度決算額】 12,568千円</p> <p>【指標等の達成状況】 法面保護工事の実施について、年度内に工事が完了し、本年度分は概ね達成できた。</p>	5
(7) 市内遺跡発掘調査事業	<p>【目的】 事業課で予定されている諸開発事業に伴う発掘調査については、嘱託員を採用して実施する。また、市内各地から発掘調査等で出土した貴重な鉄器類の腐食が著しいことから、保存処理を行い、活用を図る。さらに、市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等を行う。</p> <p>【内容】 ○事業課において道路改良事業が予定されており、その事業に伴う発掘調査は嘱託員（埋蔵文化財専門員）を採用して対応する。 ○鉄器類について、専門の業者に委託して防錆・恒久化等の保存処理を行う。本年度は、常心原地下式横穴墓群から出土した鉄器類の保存処理を実施する。 ○遺物の整理を行い、報告書作成の補助的な作業を行う。</p> <p>【効果】 発掘調査については、調査の専門員を補充することによって、事業が円滑に進み、作業の効率化が図れる。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 8,806千円</p>	<p>○嘱託員（埋蔵文化財専門員）1名 発掘調査補助、図面作成</p> <p>○保存処理委託 委託物件 常心原地下式横穴墓群出土 鉄刀・刀子・鉄鏃 13点 委託期間 平成29年4月～平成30年3月 委託料 1,355千円</p> <p>○整理作業員 2名 平成29年4月～平成30年3月 市内の遺跡から出土した遺物の整理作業及び報告書作成補助等</p> <p>【平成29年度決算額】 7,676千円</p> <p>【指標等の達成状況】 諸開発事業に伴う発掘調査や出土品の保存処理委託は、概ね達成できた。</p>	5
(8) 日向国分寺跡保存整備事業	<p>【目的】 平成23年9月21日付で国史跡として指定を受けており、その指定地は宅地や畑地が多く、大部分が民有地である。その為、周辺地域では宅地化が急速に進んでおり、指定地への影響も懸念されることから早急に買い上げを含めた保存整備をする必要がある。そのため、平成24年度から国庫補助事業（買い上げ事業）を導入して継続的に公有化を図り、日向国分寺跡の保存と活用を行う。</p> <p>【内容】</p>	<p>○買い上げの実施 土地鑑定 平成29年5月～6月 鑑定委託費 400千円</p> <p>物件調査 平成29年6月～8月 物件調査委託料 2,441千円</p> <p>買い上げ面積 1,217.61㎡ 買い上げ費用（補償費含む）59,760千円</p> <p>事業費総額 62,610千円</p>	5

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価	
	<p>○国指定地を平成24年度から年次的継続的に公有化を図る。</p> <p>【効果】 公有化することにより、日向国分寺跡の保存が図られ、整備することにより、観光の目玉として、西都市の活性化に繋がる。</p> <p>【指標】 公有化 3筆 1,217.61㎡ 【平成29年度当初予算額】 66,469千円</p>	<p><補助対象金額 62,610千円></p> <p>【平成29年度決算額】 62,858千円</p> <p>【指標等の達成状況】 目標面積の公有化を完了、100%達成した。</p>	
(9) 伊東満所（マンショ）顕彰事業	<p>【目的】 郷土の偉人、伊東満所（マンショ）の顕彰事業を行い、伊東満所（マンショ）の功績を称えていく。</p> <p>【内容】 郷土の偉人、伊東満所（マンショ）に対する理解と認識を深めるため、マンショ関係講座のほか、ドキュメンタリー制作やマンショゆかりの地を巡るツアーなどイベント等の事業を実施する。</p> <p>【効果】 事業を通じて、郷土の偉人「伊東満所（マンショ）」の歴史的価値を再認識することができる。また、伊東満所（マンショ）の生まれた都於郡城（国史跡）と併せて、地域の活性化が見込める。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 302千円</p>	<p>郷土の偉人、伊東満所（マンショ）を顕彰するためのイベント等を実施した。</p> <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊東満所（マンショ）関係講座3回実施（延べ参加者 約100名） ・平成遣欧少年使節ヨーロッパ派遣中学生による報告会（参加者 約40名） ・ナウマン象発掘体験（参加者 52名） <p>○伊東マンショゆかりの地を巡るツアー実施（日南市 参加者27名）</p> <p>○記録映像ドキュメンタリー制作（～南蛮文化の漂流～ DVD100枚）</p> <p>【平成29年度決算額】 1,902千円</p> <p>【指標等の達成状況】 郷土の偉人、伊東満所（マンショ）を顕彰するためのイベント等の実施について、概ね達成できた。</p>	5
(10) 都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業	<p>【目的】 都於郡城跡の発掘調査も進み国指定の史跡となり、中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の全貌が見えてきた。発掘調査までで終わるのではなく、この発掘調査の結果等を地域観光資源として活用するため、本事業を実施する。</p> <p>【内容】 中世の日向伊東48城の牙城であった都於郡城の案内説明及び、伊東満所（マンショ）関係資料の展示、物産販売等を兼ね備えた、ガイダンスセンター建設事業の推進</p> <p>【効果】 本事業により、伊東満所（マンショ）の生まれた都於郡城跡（国史跡）のガイダンスを行い、併せて、郷土の偉人「伊東満所（マンショ）」の歴史的価値を再認識することができる。さらに、中世伊東48城の牙城（都於郡城）と天正遣欧少年使節の首席伊東満所（マンショ）のブランドにより地域の活性化が見込める。</p> <p>【平成29年度当初予算額】 0千円</p>	<p>【都於郡城跡ガイダンスセンター建設事業】</p> <p>○6月補正にて工事請負費を含む建設費267,032千円を計上、承認される。</p> <p>○9月議会にて、建設費が非常に高い、公共施設は十分精査して、建物・展示物等を含め、経費節減に極力努めることを強く要望したいと文教厚生常任委員長からの意見報告があった。</p> <p>○このことを受けて、都於郡城跡ガイダンスセンター建設について見直しを行った結果、規模縮小を含めた見直しを行うこととなった。</p> <p>○12月補正にて、工事請負費を含む建設費266,232千円を減額</p> <p>○都於郡城跡ガイダンスセンター建設検討委員会にて、見直しの報告を行い、了承を得た。</p> <p>【平成29年度決算額】 585千円</p> <p>【指標等の達成状況】 都於郡城跡ガイダンスセンター建設については、規模縮小を含めた見直しを行うこととなったため、指標の達成状況としては達成できなかった。</p>	3

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価	
(11) 文化振興事業	<p>【目的】 市民の芸術文化振興を図るため、西都市総合文化祭等の西都市主催事業の開催及び市内の芸術文化団体を支援する。</p> <p>【内容】 西都市総合文化祭として美術展と芸能大会を開催し、美術品の出品者や市内で活動する芸能団体の活動意欲の向上を図る。また、市内で活動する芸術文化団体の活動を支援するため、事業費補助を行い文化振興を進めていく。</p> <p>【効果】 市民の文化意識が向上することにより、心が安定し生活意欲が向上する。また、市民に発表と鑑賞の機会を提供することにより、参加した人には更なる創造意欲の向上を、鑑賞した人には身近な地元の作品や芸能に触れることにより芸術文化活動への参加を促す。</p> <p>【指標】 総合文化祭来館者数 1,300人 【平成29年度当初予算額】 1,333千円</p>	<p>西都市自主文化事業 ・西都市合唱祭 (3月4日) 西都市総合文化祭 ・美術展 出展総数 95点(10月21日～29日) ・芸能大会 (11月3日) 芸術文化団体支援 西都市文化連盟、西都市美術協会</p> <p>【実績】 総合文化祭来館者数 943人 【平成29年度決算額】 1,318千円</p> <p>【指標等の達成状況】 市のホームページやフェイスブック等を活用して情報発信を行ったが、達成度は約73%であった。</p>	3
(12) 歴史民俗資料館管理運営事業	<p>【目的】 文化遺産に対する市民の意識向上と理解を深めるために歴史民俗資料の保存と展示の内容充実を図る。</p> <p>【内容】 ○歴史民俗資料館の管理運営 ○企画展の開催</p> <p>【効果】 企画展を開催することにより、文化遺産に対する市民の意識向上と理解が更に深められる。</p> <p>【指標】 入館者数 1,500名 【平成29年度当初予算額】 4,949千円</p>	<p>○歴史民俗資料館の管理運営 収蔵庫ガス燻蒸・エレベーター保守点検・警備委託等 ○(夏季)企画展 出土遺物を保管する。～甕つた形と輝き～ 展示内容 発掘調査において出土した金属製品の保存処理成果を、その工程の解説とともに展示した。 期 間 平成29年8月1日(火)～9月24日(日) 入館者数 大人83名 小人134名 合計217名 ○(冬季)企画展 写真で巡る「昭和の西都市」 展示内容 西都市が所有する昭和期の写真等を展示し、市政成立・一ツ瀬ダム事業・都市計画・妻線等を中心に、変わりゆく街の景観を紹介した。 期 間 平成30年2月6日(火)～3月4日(日) 入館者数 大人499名 小人28名 合計527名</p> <p>【実績】 入館者数 1,749人 【平成29年度決算額】 4,663千円</p> <p>【指標等の達成状況】 ガス燻蒸や、夜間や休日の機械警備を行い、歴史民俗資料の保存を的確に行った。また、企画展を実施し、入館者増を図った。指標としては、達成できた。</p>	5
(13) 市史編さん事業	<p>【目的】 西都市の市史を編さんすることにより、郷土の歴史を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える。</p> <p>【内容】</p>	<p>○西都市史編さん関連資料後記作成 ①「ふるさとを語る ～西都に生きた人々のくらし～」 300部の表紙印刷及び製本 ②「妻町商家のくらし ～河内屋(河野藤太家)調査報告書～」 350部の印刷及び製本</p>	3

小項目（事業名）	目的・内容	点検・評価																							
	<p>西都市史発刊の情報発信に努め、西都市関係資料の調査・収集・保存を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西都市史編さん関連資料後記作成 ○西都市関係資料の調査・収集・保存 ○資料保管室の環境整備 <p>【効果】 市史の発刊は、地域の歴史的経過を記録し、市民に広く理解してもらうとともに、魅力ある郷土の文化を後世に伝える役割を果たす。また、市関係の歴史資料を調査・収集・保存し、市の文化活動に活用できるように整備する。</p> <p>【指標】 市史販売 100部 【平成29年度当初予算額】 3,625千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西都市関係資料の調査・収集・保存 <ul style="list-style-type: none"> ・西都市関係新聞記事調査、収集した資料の分類・整理・保存 ○資料保管室の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・害虫駆除のための燻蒸を実施（年1回） <p>【実績】 通史編14部 資料編14部 年表編14部を販売した。 【平成29年度決算額】 3,450千円</p> <p>【指標等の達成状況】 西都市史の販売についての目標達成度は14%であったが、市史編さん関連資料後記を2冊作成発刊し、活用できたことは郷土の文化を後世に伝えるという目的に大きな成果があった。</p>																							
(14) 市民会館管理事業	<p>【目的】 市民会館から市民に向けた芸術文化の情報発信や施設整備など、市民会館の管理運営を行う。</p> <p>【内容】 平成28年度から新たな指定管理者による管理運営となったが、市民の文化、教養及び福祉の増進を図るため、引き続き会館としての役割を継続する。ホール及び会議室等の貸し出し、文化事業の運営のためには、各種保守点検を定期的に行い、利用者の利便性・安全性を確保しておく必要がある。</p> <p>【効果】 市民の文化芸術鑑賞や舞台発表など、文化交流の場としての環境確保が図られる。</p> <p>【指標】 市民会館利用者数 39,000人 【平成29年度当初予算額】 42,413千円</p>	<p>西都市市民会館文化事業（11事業）</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 第22回宮崎国際音楽祭 サテライトコンサート（867名）</td> <td>5月5日（金）</td> </tr> <tr> <td>(2) 航空自衛隊西部航空音楽隊（729名）</td> <td>7月15日（土）</td> </tr> <tr> <td>(3) 第18回オカリナ太鼓コンサート（695名）</td> <td>9月2日（土）</td> </tr> <tr> <td>(4) 西都市市民会館「ヒトカシ！秋まつり」（300名）</td> <td>10月8日（日）</td> </tr> <tr> <td>(5) さいと子どもフェスティバル（365名）</td> <td>11月3日（金）</td> </tr> <tr> <td>(6) ふるさと演歌まつり（544名）</td> <td>11月18日（土）</td> </tr> <tr> <td>(7) 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト（810名）</td> <td>12月17日（日）</td> </tr> <tr> <td>(8) JILLE with Tokyo Discotheque Orchestra（639名）</td> <td>12月23日（土）</td> </tr> <tr> <td>(9) タイムアフターフォーとサウンドオリジネーター とパーソナリティ甲斐裕三郎と・・・（290名）</td> <td>2月4日（日）</td> </tr> <tr> <td>(10) 演歌ギターをあなたに・・・ 長友晴久ロビーコンサート（28名）</td> <td>2月17日（土）</td> </tr> <tr> <td>(11) 市民大学（20名）</td> <td>通年</td> </tr> </table> <p>【実績】 市民会館利用者数 30,718人 【平成29年度決算額】 44,041千円</p> <p>【指標等の達成状況】 指標としている市民会館利用者数の達成度は、約79%であった。</p>	(1) 第22回宮崎国際音楽祭 サテライトコンサート（867名）	5月5日（金）	(2) 航空自衛隊西部航空音楽隊（729名）	7月15日（土）	(3) 第18回オカリナ太鼓コンサート（695名）	9月2日（土）	(4) 西都市市民会館「ヒトカシ！秋まつり」（300名）	10月8日（日）	(5) さいと子どもフェスティバル（365名）	11月3日（金）	(6) ふるさと演歌まつり（544名）	11月18日（土）	(7) 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト（810名）	12月17日（日）	(8) JILLE with Tokyo Discotheque Orchestra（639名）	12月23日（土）	(9) タイムアフターフォーとサウンドオリジネーター とパーソナリティ甲斐裕三郎と・・・（290名）	2月4日（日）	(10) 演歌ギターをあなたに・・・ 長友晴久ロビーコンサート（28名）	2月17日（土）	(11) 市民大学（20名）	通年	4
(1) 第22回宮崎国際音楽祭 サテライトコンサート（867名）	5月5日（金）																								
(2) 航空自衛隊西部航空音楽隊（729名）	7月15日（土）																								
(3) 第18回オカリナ太鼓コンサート（695名）	9月2日（土）																								
(4) 西都市市民会館「ヒトカシ！秋まつり」（300名）	10月8日（日）																								
(5) さいと子どもフェスティバル（365名）	11月3日（金）																								
(6) ふるさと演歌まつり（544名）	11月18日（土）																								
(7) 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト（810名）	12月17日（日）																								
(8) JILLE with Tokyo Discotheque Orchestra（639名）	12月23日（土）																								
(9) タイムアフターフォーとサウンドオリジネーター とパーソナリティ甲斐裕三郎と・・・（290名）	2月4日（日）																								
(10) 演歌ギターをあなたに・・・ 長友晴久ロビーコンサート（28名）	2月17日（土）																								
(11) 市民大学（20名）	通年																								

総合評価

「教育委員会の活動」については、教育長の交代に伴い、市長が議会の同意を得て直接教育長を任命する新教育長制度に移行し、教育委員長の職が廃止され、新たな委員会体制となりましたが、以前にも増して定例委員会等において活発な協議を行い、市長と教育委員会で組織する総合教育会議においても、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等についての協議を行いました。

また、学校の現況を把握するための学校訪問や各種教育委員研修などについても、例年同様積極的に参加しました。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、「第四次西都市総合計画後期計画」（平成28年度～32年度）及び「西都市教育大綱」との整合性、各種計画との連携を図りながら、「平成29年度教育基本方針並びに教育施策」を策定し、総合的な教育施策を定めました。

また、「西都市公民館管理運営規則」及び「西都市教育委員会公印規程」の一部改正を行うなど現状に即した法整備に努めました。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、達成度が5に満たない事業は、前年度の7事業に対し9事業と増加しました。

達成度が低い事務事業については、達成度を測る指標の適否も含めて、事業の目的を再確認し、事務の見直しを行います。

また、達成度が高い事務事業についても、学力向上など、成果として十分な実績が得られていない事業があり、同じく事務の見直しを検討する必要があります。

今後も、各事務の達成度を更に高め、「第4次西都市総合計画」、「西都市教育大綱」及び「教育基本方針並びに教育施策」に基づき、各事業の取組内容、実績、課題等を検証し、事業推進に鋭意努力いたします。

点検・評価委員の意見

平成29年度に実施した教育委員会の権限に属する事務の執行に関する点検・評価については、第4次西都市総合計画及び教育基本方針並びに教育施策に基づく目標に向けて、概ね予定どおり実施できており、達成状況は良好であると判断します。

なお、大項目ごとの意見については、以下のとおりです。

「教育委員会の活動」については、教育長の任期満了に伴い、教育委員長職が廃止され新たな教育長制度となりましたが、毎月の会議や研修会への積極的な参加がなされ、適切な情報公開を図るなど、活発な活動が展開されています。また、総合教育会議などにおいて、市長と今後の事業等に資する議論を行うなど、十分評価できる取組となっています。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、教育基本方針並びに教育施策の見直しを行うなど、変化に対応した事務手続きが確実に執行されており良好な実績として評価できます。

なお、損害賠償請求訴訟については、今後も適切な対応がなされるようお願いいたします。

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、多くの事務事業を実施されているなか、概ね達成されていると認められます。しかしながら、達成度が5段階評価の「5」に満たない事業が増加しており、これらの事業については、内容の充実や市民等への周知など、様々な改善が図られるよう要望します。

また、担当部署により達成度の評価に差がみられますが、指標などに対する数値だけでは表すことができない実績や効果等も加味した上で、評価に至った理由などを具体的に記載されるようお願いいたします。

最後に、「教育施策を的確に実施するとともに、住民に対する説明責任を果たす」とした自己点検・評価の考え方を十分考慮の上、更に充実した執行状況と分かりやすい「教育委員会の権限に属する点検・評価」となることを期待します。